

東京大学大学院薬学系研究科・ドライ系学位論文リスト

2013年4月6日現在

津谷喜一郎

指導教員（研究室）

〈課程博士〉		
1	五十嵐 中 イガラシ,アタル 禁煙治療法に関する臨床経済学的評価モデルの開発と禁煙 指導法・新規禁煙治療法バレニクリンの臨床経済学的評価 甲 1270 2008. 3. 26	津谷喜一郎 (医薬政策学)
2	柴山創太郎 シバヤマ,ソウタロウ 創薬研究者の知識多様化が研究成果に及ぼす影響の分析 甲 1271 2008. 3. 26	木村廣道 (PBI)
3	辻 香織 ツジ,カオリ 日本におけるドラッグラグの現状と要因-新有効成分含有 医薬品 398 薬剤を対象とした米国・EU との比較- 甲 1284 2009. 3. 11	津谷喜一郎 (医薬政策学)
4	白岩 健 シロイワ,タケル 抗癌剤の医療経済評価とその意思決定方法に関する研究 甲 1353 2010. 3. 24	津谷喜一郎 (医薬政策学)
5	高橋 健 タカハシ,ケン 脳卒中・糖尿病領域における製薬企業の治験生産性に 関する、国際共同治験との比較による日本治験の特徴解析と 課題抽出 甲 1356 2010. 3. 24	木村廣道 (PBI)
6	渡辺 由香 ワタナベ,ユカ 日本の新薬開発における遅れのメカニズムに関する研究 甲 1470 2012. 9. 12	杉山雄一/松木則夫 (医薬品評価科学)
7	佐藤 大作 サトウ,ダイサク 新医薬品市販直後の安全性と処方行動に関する研究-DPP4 阻害薬と経口糖尿病薬の処方箋データ解析- 甲 2013. 3. 25	木村廣道 (PBI)
8	林 邦彦 ハヤシ,クニヒコ 創薬におけるバイオマーカーの役割-患者層別マーカーが 医薬品の研究開発に与える影響- 甲 2013. 3. 25	木村廣道 (PBI)

〈論文博士〉		
1	福室 憲治 フクムロ,ケンジ ドラッグインフォメーションに関する基礎的ならびに応用 研究 乙 03842 1976. 03. 10	高木敬次郎 (薬品作用学)

## 指導教員（研究室）

2	根元曾代子 ネモト, ソヨコ 東京大学薬学部前史 乙 05185 1980. 02. 13	水野傳一 (微生物薬品化学)
3	石坂 哲夫 イシザカ, テツオ 薬学の歴史試論 乙 05229 1980. 03. 19	水野傳一 (微生物薬品化学)
4	北口 正 キタグチ, タダシ 製薬企業における市販後医薬品の監視体制の確立に関する 研究 乙 06910 1984. 06. 13	福田英臣 (毒性薬理学) (→細胞情報学)
5	山田 光男 ヤマダ, ミツオ 日本薬局方における医薬品鑑別試験法の変遷 乙 07211 1985. 03. 13	野島庄七 (衛生化学・裁判化学)
6	相良 悦郎 サガラ, エツロウ コンピュータ支援による処方作成と調剤 乙 07346 1985. 06. 12	中川富士夫 (医学部・附属病院)
7	三輪 亮壽 ミワ, リョウジュ 薬事分野における法と実態の乖離に関する研究 乙 09615 1990. 03. 09	中川富士夫 (医学部・附属病院)
8	天野 宏 アmano, ヒロシ 江戸、明治期に形成されたわが国特有の薬文化、その 史的考察 乙 10081 1991. 03. 08	花野学 (製剤学) (→分子薬物動態学)
9	折井 孝男 オリイ, タカオ 病院における薬剤情報処理システムの構築に関する研究 乙 11510 1993. 12. 08	伊賀立二 (医学部・附属病院)
10	藤井 基之 フジイ, モトユキ 新医薬品の研究開発動向に対する行政施策の効果に関する 研究 乙 11748 1994. 04. 13	斎藤洋 (薬品作用学)
11	高橋 晟 タカハシ, アキラ 一般用医薬品の研究：一般用医薬品の評価法 乙 13127 1997. 01. 10	斎藤洋 (薬品作用学)
12	白神 誠 シラガミ, マコト わが国のオーファンドラッグ開発支援制度 乙 14428 1999. 09. 08	井上圭三 (衛生化学)
13	清野 敏一 セイノ, トシカズ 医薬品の適正使用のための処方監査支援システム及び調剤 支援システムの構築と患者への情報提供に関する医療薬学 研究 乙 14490 1999. 11. 24	伊賀立二 (医学部・附属病院)

指導教員（研究室）

14	<p>小野 俊介 オノ, シュンスケ          本邦における医薬品開発を目的とする臨床試験に関する研究          乙 15168 2001. 10. 10</p>	<p>津谷喜一郎          (医薬経済学)          (→医薬政策学)</p>
15	<p>高柳 里早 タカヤナギ, リサ          新 GCP に基づく医療機関における治験実施体制の構築に関する研究：治験薬の管理及び安全性確保における薬剤師の役割          乙 15937 2004. 03. 10</p>	<p>伊賀立二          (医学部・附属病院)</p>
16	<p>齋藤 充生 サイトウ, ミツオ          薬物動態における相互作用とその添付文書による情報提供に関する研究-スタチン、カルシウム拮抗剤及びグレープフルーツジュース-          乙 16693 2007. 02. 14</p>	<p>松木則夫          (薬品作用学)</p>